



テクニカル・メッセージ

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）付きタイヤの タイヤ組み換え時の注意点

TPMS 送信機をホイールに取り付ける際には固定ボルトにねじロック剤を使用しますが、長期末使用の場合、ねじロック剤の劣化等によりボルトが緩み、TPMS 送信機がタイヤ内に脱落した事例が確認されています。

また、TPMS 送信機付きタイヤの組み換え作業時に、TPMS 送信機を破損させる恐れがありますので、注意点をお知らせいたします。

■ 対象車両

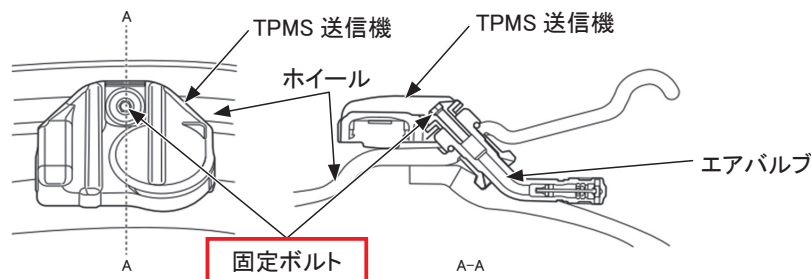
ポスト・ポスト新長期以降 大型トラック TPMS 装着車

■ TPMS 送信機の固定ボルトへねじロック剤を塗布してください

固定ボルトの補給部品を現在のねじロック剤塗布済みのものから、ねじロック剤無しのものへ変更しますので、TPMS 送信機の脱着の際に下記の手順でねじロック剤の塗布をお願いいたします。

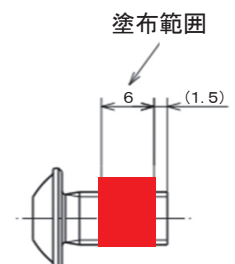
ねじロック剤有無	なし（変更後）	あり（変更前）
部品番号	SZ110-06012	SZ110-06009

TPMS 送信機取り付け部（スチールホイールの例）



■ ホイールへの TPMS 送信機の取り付け手順

- ① TPMS 送信機の固定ボルトとエアバルブをパーツクリーナー等で脱脂する
※ねじロック剤ありの固定ボルトも劣化の恐れがあるため再塗布を推奨
- ② ねじロック剤の中身を攪拌し、固定ボルトのねじ先端部から
1.5mm (1 ～ 2 山) 空け、6mm 程度 (約 6 山) の範囲に
ねじロック剤を塗布する (再使用品には硬化促進剤も使用を推奨)



推奨ねじロック剤：ロックタイト LT272

※使用期限が過ぎたねじロック剤は十分な性能を発揮できない可能性があるため、
ねじロック剤の説明書を参照し使用期限を守ること

エアバルブ・固定ボルト	ねじロック剤（ロックタイト LT272）	硬化促進剤（SF7679/SF7471）
両方とも新品	必要	不要
いずれか再使用品	必要	使用推奨

- ③ エアバルブ側のねじ穴に固定ボルトを合わせて送信機を固定する

締め付けトルク：5 ± 1 N・m

※作業時の注意事項は整備解説書をご確認ください

日野自動車

■ TPMS 装着車のタイヤ交換時の注意点

TPMS 送信機の破損防止のため、タイヤ交換時には、以下の点に注意してください。

- ・タイヤを外す時は、先にエアバルブを外して TPMS 送信機ごとタイヤ内へ落とし込んでください
- ・タイヤ組み付け時は、タイヤチェンジャーのプレスローラーが、TPMS 送信機の取り付け箇所を通過しないようにしてください
- ・手前側のビード組み付け時は、タイヤチェンジャーのプレスローラーが TPMS 送信機の取り付け箇所を通過しないよう、ビードキーパー等をバルブの回転先に取り付けることを推奨します
- ・使用するタイヤチェンジャーにより注意点が異なることが考えられますが、以下の作業例を参考に作業してください

【タイヤ取り外し作業の注意点】

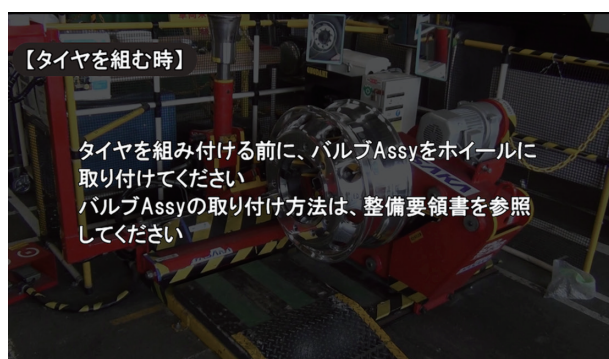


- ①
タイヤの空気を抜いてから、エアバルブのナットを取り外す



- ②
エアバルブをタイヤ内へ落ちるように押し込む
その後、タイヤをホイールから取り外し、
タイヤ内に落とした TPMS 送信機を回収する

【タイヤ組み付け作業の注意点】



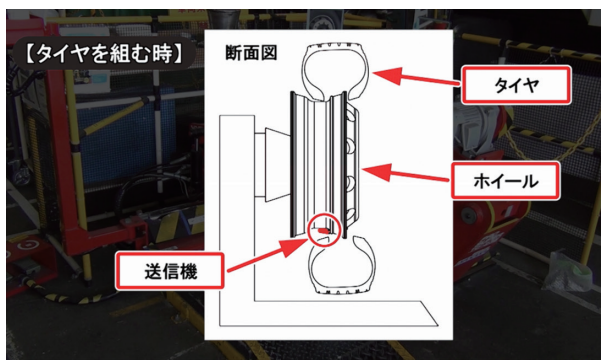
- ①
タイヤとホイールを組む前に、エアバルブと
TPMS 送信機をホイールに組み付ける

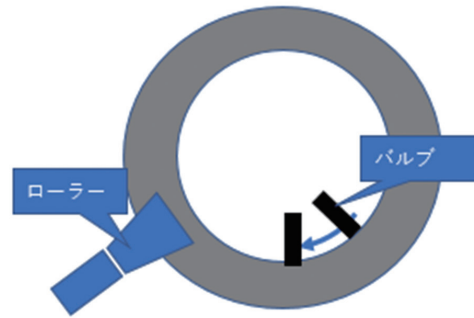


- ② -1
タイヤチェンジャーにホイールをセットする時に、
エアバルブが下側にくるようにする



- ② -2
エアバルブを下側にする事でホイールへタイヤの組み付けをする時（タイヤの奥側のビードが
ホイールの手前側を越える時）に、TPMS 送信機が破損することを防止する





② -3

低扁平タイヤやビードが固いタイヤなどビードを手で押し込むことが難しい場合は、バルブを4～5時の位置に移動し、プレスローラーでビードを押し込みながら、バルブが真下にくるようにホイールを回転させ、ビードをホイールにはめる

※エアバルブ上をプレスローラーが通過しないよう注意する



③ -1

プレスローラーを使用してタイヤ（手前側のビード）をはめ込む時は、エアバルブがプレスローラーの少し上（時計回りにタイヤが回転する場合）にくるようにホイールを回転させる



③ -2

プレスローラーがエアバルブ（TPMS 送信機）取り付け部を通過する時に、TPMS 送信機が破損してしまう恐れがあるので、ビードキーパー等をバルブの回転方向に取り付ける